

第 54 回 粘土科学討論会のお知らせ

■ 主催 日本粘土学会

■ 共催 以下予定

資源・素材学会、資源地質学会、ゼオライト学会、地盤工学会、日本化学会、日本火山学会、日本鉱物科学会、日本セラミックス協会、資源・環境関連材料部会、日本第四紀学会、日本地学教育学会、日本地球化学会、日本地質学会、日本土壌肥料学会、日本熱測定学会、農業農村工学会、名古屋大学エコトピア科学研究所、(独)産業技術総合研究所中部センター

■ 期間 平成 22 年 9 月 6 日 (月) ～ 8 日 (水)

■ 会場 名古屋大学 IB 電子情報館

■ 日程 9 時 11 時 12 時 13 時 14 時 15 時 18 時

9 月 6 日 (月)	Asian Clay						
9 月 7 日 (火)	口頭発表 (招待講演を含む)	②	会長 講演	特別 講演	シンポジウム	懇親 会	
9 月 8 日 (水)	口頭発表 (招待講演を含む)	③④	ポスター討論		口頭発表 (提案セッションを含む)	⑤⑥	
	総会 ポスター展示						

①：平成 22 年度第 4 回常務委員会(9 月 5 日 15：00～17：00)、②：平成 22 年度第 4 回評議委員会、

③：平成 23 年度第 1 回評議委員会、④：平成 23 年度第 1 回常務委員会、⑤：「粘土科学」編集委員会、

⑥：「Clay Science」編集委員会

■ 講演

A. Asian Clay

アジア地区の粘土関連研究者の連携を深めることを目的として、アジア各国（ベトナム、フィリピン、インド、タイ、韓国、中国、台湾）から地球科学、資源、無機材料、化学・物理、土壌・肥料、建設・農業・土木の各分野の著名な粘土科学者を招き、これに日本の粘土科学者を加えたアジア国際シンポジウムを開催します。

開催日時 平成 22 年 9 月 6 日 (月) 9:30 ～ 18:00

会場 名古屋大学 IB 電子情報館

予定講師 Nguyen Quang Hai (Vietnam Academy of Agricultural Science)

Chelo S. Pascua (University of the Philippines)

Ajayan Vinu (National Institute of Materials Science)

Nithima Khaorapapong (Khon Kaen University)

Jin Yeon Hwang (Pusan National University)

Yul Roh (Chonnam National University)

Qinfu Liu (China University of Mining & Technology)

Huang Qiaoyun (Huazhong Agriculture University)

Hyoung Jin Choi (Inha University)

Jin Ho Choy (Ewha Womans University)

Tsung-Yen Tsai (Chung Yuan Christian University)

Ming Kuang Wang (National Taiwan University)

小暮 敏博 (東京大学)、佐藤 努 (北海道大学)、岡田 友彦 (信州大学)

小川 誠 (早稲田大学)、河野 元治 (鹿児島大学)、

南條 正巳（東北大学）

B. 一般講演（口頭発表、ポスター発表）

- 1) 口頭発表は2会場で並行して開催します。
- 2) 講演時間は、**15分(その内質疑応答7分)(※)**です(招待講演を除く)

※本年度の討論会では、より充実した討論を行うことができるようにとの考えのもと、
試行的に従来よりも質疑応答を長くしております。口頭発表を予定される方は、十分
ご注意の上、準備を進めてください。

- 3) 希望者は口頭発表に加え、ポスター発表を行うこともできます。なお、スペースに余裕がない場合は対応できない場合もあります。また、スペースに限りがございますので、申込先着順となります。

C. 会長講演 座長 未定

開催日時 平成22年9月7日（火）13:00 ～ 14:00

講演者 岡田 清（東京工業大学）

講演題目 「未定」

D. 特別講演 座長 渡村 信治（(独)産業技術総合研究所）

開催日時 平成22年9月7日（火）14:00 ～ 15:00

講演者 片山 新太（名古屋大学エコトピア科学研究所）

講演題目 「未定」

E. 平成22年度 粘土科学討論会シンポジウム

座長 日比野俊行（産業技術総合研究所）

鈴木 正哉（産業技術総合研究所）

岡田 友彦（信州大学）

開催日時 平成22年9月7日（火）15:30 ～ 18:00

テーマ 「層状複水酸化物の応用—陰イオン交換特性の利用—」

- 1) 會澤 純雄（岩手大学）「層状複水酸化物のドラッグデリバリーシステムへの応用」
- 2) 井伊 伸夫（物質・材料研究機構）「酢酸緩衝液を用いたLDHの脱炭酸イオン法」
- 3) 笹井 亮（島根大学）「発光性色素／層状複水酸化物ナノハイブリッドの分子検出特性」
- 4) 中山 尋量（神戸薬科大学）「ハイドロタルサイトへのインターカレーションに伴う特異な挙動とその応用の可能性」
- 5) 森本 和也（物質・材料研究機構）「Fe系層状複水酸化物の合成とその応用」
- 6) 大野 睦浩（ANION株式会社）「NLDH／微結晶性層状複水酸化物を使った水処理システム」
- 7) 大久保 彰（富田製薬株式会社）「ハイドロタルサイト様化合物を用いたリン除去—医薬・環境技術分野への応用に関して—」
- 8) 総合討論

■ 一般講演の申込

申込方法 昨年同様、Webにて講演申込と講演要旨原稿を同時に行っていただく予定であります。

URL等詳細が確定しましたら、粘土科学および日本粘土学会のHP上でお知らせいたします。（6月15日～6月29日を申込期間と予定しております）

参加登録料（講演予稿集代込）

会員（共催学会員を含む）：6,000 円、学生会員：4,000 円、非会員：10,000 円

■ 懇親会

申込方法 粘土科学（第 49 巻第 1 号）に掲載する懇親会参加申込書を参照し、メール、FAX または官製はがきにて下記の申込先までお申し込みください。

開催場所 名古屋大学 東山グリーンサロン

日時 平成 22 年 9 月 7 日（火）18:30 ～ 20:30

場所、会費等の詳細に関しましては、決まり次第粘土科学および日本粘土学会の HP 上でお知らせいたします。

■ 見学会

今回、見学会は開催いたしませんので、ご了承ください。

■ 問い合わせ、討論会・懇親会申込先、講演要旨等送付先

〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町

名古屋大学エコトピア科学研究所環境システム・リサイクル科学研究部門

第 54 回粘土科学討論会実行委員会 鈴木 憲司

電話/ファックス 052-789-5537 メールアドレス k-suzuki@esi.nagoya-u.ac.jp

■ 講演要旨

原稿は、講演 1 件につき A4 用紙 2 ページまでとし、それを PDF ファイルに変換後、Web から提出してください。Word や一太郎などのファイルは、レイアウトのずれ等の問題が生じることがありますので、必ず PDF ファイルに変換して Camera-Ready の状態として提出してください。ご提出いただいた PDF 原稿をそのまま講演要旨集に掲載いたしますので、文字化け等については申込者で十分ご確認ください。

〔原稿作成要項〕

- 1) 原稿の用紙サイズは A4、ワープロなどで作成後、PDF ファイルに**必ず**変換してください。
- 2) 余白マージンは、左右：20 mm、上下：30 mm としてください。文字数は、1 行 40～45 字、1 ページ 37～40 行で割りつけてください。記入スペースは 170～230 mm となります。
- 3) 最初の 4 行の左 5 文字分は、プログラム番号記載のために使いますので、余白としておいてください。
- 4) 題目は最初の行の 6 文字目以降から 2 行以内でご記入ください。
- 5) 氏名（所属）は 3 行目 6 文字目以降からご記入ください。なお講演者の氏名の前に必ず○印を付けてください。
- 6) 本文は、6 行目以降からご記入ください。
- 7) 1 ページ目の最下行に発表者全員の氏名の振り仮名をご記入ください。
- 8) 図表、写真などは鮮明なものを貼り付けてください。
- 9) 印刷はモノクロで行います。カラー部分などは申込者の方で事前にグレースケールに変換し、印刷に耐えうるかどうかを事前にご確認ください。

■ 発表者へのお願い

第 54 回粘土科学討論会では、初日に開催される Asian Clay でご講演頂くアジア各国の講演者の皆様にも、討論会にご参加いただく予定であります。つきましては、発表用のスライド/ポスターは

“できるだけ英語表記もしくは英語/日本語併記”

で作成していただきますようお願いいたします。

なお、発表は日本語で構いません。

1. 一般講演 口頭発表（提案型セッションも含む）

口頭発表はすべて液晶プロジェクターを用いて行います。OHPの準備は行いませんのでご了承ください。

実行委員会では万が一に備えてPCを準備いたしますが、基本的には発表者でPCをご持参ください。また、万が一に備え、発表ファイルをUSBメモリなどに入れ別途ご持参ください。PCのプロジェクタへの接続は、前発表者控え席にて発表者自身に行っていただきます。事前にPCの設定（スリープ機能、省エネ機能、スクリーンセーバーなど発表時間のロスにつながるような機能の解除）を確認し、スムーズな進行にご協力ください。

本討論会では、より十分な討論を行っていただくことを目的として、試行的に質疑応答時間を7分と長くしております。例年とは異なりますので、ご注意ください。

2. 一般講演 ポスター発表

ポスター会場にパネルを設置します。発表者は9月8日（水）12時までにポスターを展示し、同日17時までに撤去してください。講演番号はパネル左上に掲示いたしますので、指定の場所に展示してください。パネルサイズ、場所等の詳細に関しては、決まり次第粘土科学並びにHP上にてお知らせいたします。

■ 提案型セッション

〔概要〕

第52回粘土科学討論会より“提案型セッション”を導入してきました。この提案型セッションでは、4件の講演をまとめて1セッションとし、その後に15分間の総合討論を設けることができます。したがって、セッションのテーマ内容について深く十分な議論をすることが可能となります。また、今回より招待講演1件を含めることが可能となりました。特定のテーマについて少しでも多くの方々と議論を交わしたいとお考えの方は是非ご提案ください。セッション提案の要件などは次の通りとなります。

〔セッション提案の要件〕

- 日本粘土学会会員であればどなたでも提案することができます。
- 4件の講演（招待講演1件＋一般講演3件）を決定する必要があります。なお、各講演の登録は一般発表と同様、Webページから行ってください。
- 当該セッションの取りまとめ、進行、座長等は、提案者が責任を持って行ってください。
- 原則、同一機関からの講演は1件とします。（連名者も含む）
- 講演の後に15分間の総合討論を設定することができます。

〔開催日時〕

9月8日（水） 最終コマ（16:00～18:00の間を予定）

〔応募方法〕

提案型セッションに応募される方は、以下の項目を明記した書類を添付し、第54回粘土科学討論会企画委員会（masaya-suzuki@aist.go.jp）宛に、件名を「第54回粘土科学討論会提案型セッション申込」とし、電子メールにて送付ください。なお、本件について、不明な点等々ございましたら、同電子メールアドレスにご連絡ください。

〔記載項目〕

- ① 提案セッション名

- ② 提案セッションの概要（100文字程度）
- ③ 提案者の連絡先（氏名、所属、電子メールアドレス）
- ④ 各講演のタイトル、講演者氏名および所属（招待講演にはタイトルの後ろに(招待)と記入してください）
- ⑤ 総合討論の希望の有無

[選考]

多数の応募があった場合は、選考となります。選考については第54回粘土科学討論会事務局（日本粘土学会企画委員）にご一任いただきます。